

2023年度 教育学研究科 入学試験問題（直接解答）

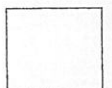
博士課程後期課程 【正規学生（一般）】	乳幼児教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
------------------------	-----------	--------------	-----------

解答記入不可



問題 1

子ども虐待の重症度と対応内容、および児童相談所と市町村の役割について説明せよ。その際、「要保護児童対策地域協議会」についても言及せよ。



3 枚中
1

2023年度 教育学研究科 入学試験問題（直接解答）

博士課程後期課程

【正規学生（一般）】

乳幼児教育研究領域

試験科目

専門科目

受験番号

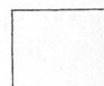
番

解答記入不可

↑

問題 2

3 歳児、4 歳児、5 歳児の縦割り保育における遊びの中で、社会性という観点から、それぞれの年齢で体験すると考えられることを述べよ。その際、各年齢の発達的特徴を示すこと。



3 枚中

2

2023年度 教育学研究科 入学試験問題（直接解答）

博士課程後期課程 【正規学生（一般）】	乳幼児教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
------------------------	-----------	--------------	-----------

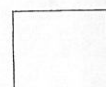
解答記入不可

↑

問題 3

乳幼児期の「ごっこ遊び」が「自己形成」過程において重要だと言われるのはなぜか。【 】内の言葉を用いて説明せよ。

【 社会的学習 象徴的行動 自己と他者 】



3 枚中

3

2023 年度 第二次 教育学研究科入学試験問題

博士課程後期課程／乳幼児教育研究領域／専門科目（解答例）

解答例

[問題 1]

- ・子ども虐待の内容を説明する。
- ・子ども虐待事案の状況に応じた対応の方法を述べる。その際、児童相談所や市町村の役割を説明する。
- ・要保護児童対策地域協議会の役割を理解し、説明する。

[問題 2]

乳幼児期の子どもは、成長に伴い物に関わる遊びを通して、イメージ（心の中での表象）を発達させていきます。初期の段階では、子どもは目の前の物を探索活動として操作し、感触や音、形などを確かめます。たとえば、積み木を叩いたり、口に入れたりする行動は、物の性質を知るための探索活動であり、この段階ではまだイメージ的な遊びは少ないと言えます。

次第に、子どもは物の機能を理解し始め、「積み木＝積むもの」「スプーン＝すくうもの」といったように、物とその使い方を関連づけて遊ぶようになります。これがイメージ発達の基礎となります。

さらに発達が進むと、子どもは物を別の物にみたてて遊ぶようになります。たとえば、積み木を車に見立てて「ブーブー」と言いながら動かしたり、棒をスプーンにふり（＝見立てて使うこと）をしたりして食べるまねをするなど、現実には存在しない「想像の場面」を再現します。これは、目の前にないものを心の中で思い浮かべる「象徴機能（イメージの発達）」が高まった証拠です。

こうしたみたてやふりの遊びが広がることで、複数の登場人物や役割を扱うごっこ遊びへと発展します。ごっこ遊びでは、子どもが自分や他者の立場を想像し、社会的関係を模倣する中で、言語的・社会的なイメージの統合が進みます。すなわち、乳幼児の物に関わる遊びは、単なる操作活動から始まり、探索活動 → みたて・ふり → ごっこという段階を経て、イメージの発達と密接に結びついているのです。

[問題 3]

①「ごっこ遊び」は役割を演じること、その役割を遊びの仲間と共通認識することなしに成立しません。つまり「ごっこ」とは、遊びの中で登場人物の社会的役割や性格、立ち居振る舞いなど、他者の立場に立って理解し、想像し再現することができるということです。こうした象徴行動を可能にするのは、社会的役割を通して自己を相対化し、自己理解を深めることができるという証でもあります。

②「ごっこ遊び」の中で子どもは自然と、「交代で役を代わる」とか、「順番やルールを守る」といった自己と他者の区別や協調性を学んでいます。

③つまり「ごっこ遊び」は子どもにとって社会的学習であり、自分の属する社会や文化について学び、その価値や規範を通して自己を形成しているのです。

2023 年度 第二次 教育学研究科入学試験問題

博士課程後期課程／乳幼児教育研究領域／専門科目（出題意図）

出題意図

[問題 1]

従来より子ども家庭福祉領域における重大懸案事項とされる「子ども虐待」について、その対応のあり方を理解しているかを問う。

[問題 2]

乳幼児期の基本的な発達について、特にイメージ活動が、ものに関わる遊びの中でどのように現れるかを問う質問となっている。博士後期課程でこれから乳幼児に関する研究を進める上で、必要な知識である。

[問題 3]

乳幼児の「ごっこ遊び」は自己形成にとっても重要な意味を持っています。「ごっこ遊び」には豊かな想像力が必要です。また仲間と楽しく遊びを成立させるには、相手の気持ちや立場を尊重し、時には譲ったり我慢したりする忍耐力も必要です。また遊びの中で子どもは自然に社会性を身につけているのですが、最も重要なことは想像の翼を広げることによって、現実では難しいことであっても自己の可能性を広げることができるということです。こうした経験の繰り返しの中で子どもは、「なりたい自分」の姿を思い浮かべたり、「できる」ことを通して自信をつけたりしていきます。これらの経験が自己形成の土台を支えていることを理解していることは、乳幼児教育を学ぶ者にとって、基礎的かつ重要なことなのです。「ごっこ遊び」の価値を理解しているかどうかを確認することが出題意図です。